

News Release

報道関係 各位

仕掛学の講演会「仕掛学－基礎と応用－」 開催のご案内

2021年12月18日（土） 14：00～

公益社団法人日本技術士会中部本部青年技術士交流委員会は、12月18日、名古屋大学ナショナルイノベーションコンプレックス IdeaStoa とオンラインのハイブリッドにて仕掛学の基礎と応用が学ぶことのできる講演会を開催します。

本会では、人に行動を強制するのではなく、自ら楽しんで動いてもらえる「つい行動したくなる」ように仕向ける「仕掛学」を学び、技術者の成長を促すことを目的とします。

イベント概要

タイトル	青年技術士交流委員会12月例会 仕掛学－基礎と応用－
日時	2021年12月18日（土） 14:00～16:45
主催	公益社団法人日本技術士会中部本部青年技術士交流委員会
共催	名古屋大学未来社会創造機構
場所	名古屋大学ナショナルイノベーションコンプレックスIdeaStoa オンライン
内容	講演1：仕掛学 ～人を動かすアイデアの作り方～ 大阪大学大学院経済学研究科教授 松村真宏氏 講演2：仕掛けでまちづくり ～人の行動で解決できる課題を捉える～ NTTデータ経営研究所情報未来イノベーション本部マネージャー (名古屋大学 招へい教員) 飯島玲生氏
参加費	一般 2,000円、日本技術士会会員 1,000円、学生 無料
関連するSDGs	   
お問い合わせ	公益社団法人日本技術士会 中部本部 青年技術士交流委員会 担当：成田、青山 E-mail：ring2004tn@gmail.com

仕掛学－基礎と応用－詳細

人に行動を強制するのではなく、自ら楽しんで動いてもらえる。「つい行動したくなる」ように仕掛ける仕掛の不思議な魅力を基礎と応用を交えてご紹介します。

講演では、仕掛学の創始者である大阪大学の松村真宏教授から仕掛の基礎をお話しいただき、さらに名古屋大学招へい教員でもある NTT データ経営研究所の飯島玲生先生による仕掛を利用したまちづくりの取り組みやビジネスへつなげるヒントを紹介いただきます。当日の会場には仕掛をほどこし、仕掛の体験もできる講演会となります。



仕掛の例

左：つい並べたくなる背表紙のライン
中：真実の口を模した手指消毒の仕掛
右：ゴミ箱のバスケットゴールの仕掛

仕掛学－基礎と応用－実施の背景

青年技術士交流委員会では、若手技術者の自己研鑽を目的としたイベントを開催しています。仕掛学は専門分野を超えて応用能力を研鑽する非常に優秀な手法として、ワーキンググループを立ち上げ、研究会でも発表を行うなど取り組んでまいりました。

また名古屋大学未来社会創造機構が取り組む「脱炭素」や「高齢化社会」といった社会課題の解決には、人の行動を変えていくことが重要なファクターとなっています。本講演会では、技術の先にいる人とのつながりを考える方法のひとつとして「仕掛学」を紹介します。

登壇者プロフィール

大阪大学大学院経済学研究科教授 松村真宏氏

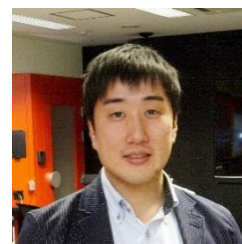
1998年大阪大学基礎工学部卒業。2003年東京大学大学院工学系研究科修了。博士（工学）。2017年より大阪大学大学院経済学研究科教授。「仕掛学」を創始し、仕掛学の研究・実装・普及に従事。著書は『仕掛学』（東洋経済新報社）など。



NTT データ経営研究所 情報未来イノベーション本部 マネージャー

（名古屋大学 招へい教員） 飯島玲生氏

ゲノム科学分野で博士号を取得し、大学で AI・ビッグデータに関する教育や学術コンサルティングに従事した後に、現職。生命科学・情報科学分野のビジネス戦略立案、R&D 戦略や、先端技術が関わる調査・事業推進（サービスロボットの検証実験、大学やスタートアップの知財戦略支援）等の業務実績を有する。



公益社団法人日本技術士会中部本部 青年技術士交流委員会について

公益社団法人 日本技術士会は技術士制度の普及・啓発を図ることを目的とした唯一の全国組織です。当会は、日本技術士会中部本部内に設けられた委員会組織で、45歳以下の技術士、技術士補、修習技術者から構成され、中部地区の若手に向けた研鑽事業の企画・実施をしています。

名古屋大学未来社会創造機構について

未来社会創造機構は、最先端の産学連携プロジェクトを強力に支援し推進するため、学内緒組織の積極的な協力を得て、専任教員・職員からなる新たな組織として構築されました。産学官連携によるアンダーワnlループのコンセプトに基づき、緊密な共同研究・開発を推進します。

【組織概要】

組織名：公益社団法人日本技術士会 中部本部 青年技術士交流委員会

所在地：〒450-0002 名古屋市中村区名駅5-4-14 花車ビル北館6階

代表者：委員長 嘉田善仁

URL：<http://chubu-ipej.sakura.ne.jp/seinen/>

事業内容：若手技術者の交流・支援、技術士制度の普及、啓発

【本リリースに関する報道およびお客様からのお問い合わせ先】

公益社団法人日本技術士会中部本部青年技術士交流委員会

担当：成田尚宣、青山尚弘

e-mail：c_seinen-shikakeology@yahoo.co.jp